

1. 天王寺区の概要

当区域が大阪市となったのは、明治30年4月1日の大阪市第1次市域拡張時です。当初は南区に属し天王寺区としての創設は大正14年4月1日で、大阪市第2次市域拡張が行われた際に南区から独立しました。続いて、昭和18年4月1日で大阪市行政区再編成により22区に分増区され、その際に清堀地区が当区に編入となり、東平地区と松屋町筋以西が南区、浪速区の両区に移り、現在の天王寺区が形成されました。

天王寺区は、大阪市のほぼ中央に位置し、面積は4.84km²、人口約8万人、地勢は西高東低で南北にのびる帯状の上町丘陵と呼ばれる台地にある市街地です。区内には、わが国仏法最初の大伽藍で、聖徳太子創建にかかる四天王寺をはじめ約200の寺院があるほか、神社仏閣の間を抜ける古い参道が昔を今にとどめるなど名所旧跡が多く、学校、図書館、美術館、天王寺動物園など70余の文化施設を有しています。天王寺公園など26ヶ所の公園（面積415,529平方メートル）を有し、信仰の町であると同時に緑の多い文教の町としての性格をもっています。

天王寺区内では、北は清水谷高校付近から南はあべの橋まで「歴史の散歩道」が通り抜けており、史跡を結ぶプロムナードとして整備したものです。散歩道には日本庭園の飛び石を模した「つたい石」が敷かれ、主な交差点には歴史の散歩道のシンボルマークが入った「サイン」が設置され、楽しく史跡散歩ができるようになっています。

JR天王寺駅周辺は、JR関西線、阪和線、環状線をはじめ、地下鉄御堂筋線、谷町線、近鉄南大阪線、阪堺電車上町線など交通網が発達し、大阪でも有数の繁華街を形成しており、大阪の南玄関口として賑わっています。また、上本町は、地下鉄千日前線、阪神なんば線、近鉄大阪線及び奈良線が連絡し、あべの橋に次ぐターミナルであるとともに、周辺は大阪の新しい文化、情報の交換等の場として、豊かな歴史と伝統を生かしながら、創造性溢れる文化が育つまちとして、より一層の発展が期待されています。

2. 保健福祉センター（保健部門）の概要

（1）沿革

昭和16年3月17日	厚生省許可
昭和17年6月23日	浪速区下寺町3-19に区内の保健指導機関として発足
昭和18年4月1日	町名変更 天王寺区下寺町3-19
昭和20年3月14日	空襲により焼失
昭和20年4月9日	天王寺区真法院町91に移転
昭和23年9月1日	保健所法の改正により機構を充実、天王寺区、南区を管轄、南区役所内に南支所をおく
昭和26年8月4日	天王寺区東平野町5-8に独立庁舎を新築移転、同時に南区にも庁舎が建設され、南支所は分離して南保健所となる。
昭和45年9月14日	庁舎の老朽化に伴い、改築のため、北山町27五条小学校分校内に移転
昭和46年4月24日	上汐4-3-2に新庁舎完成、移転。
平成12年4月1日	機構改革に伴い、保健センターに改称。
平成15年4月1日	機構改革に伴い、保健センター、福祉事務所、健康福祉サービス課を再編し、保健福祉センターとなる。（現在は天王寺区役所保健福祉課）